

世と教界を見る目を養う(4)

=バビロンでの生き方=

■ダニエル1-3章

- ①神殿と祭具のバビロン(シヌアル)への移送(1:2)→世に捕囚とされる
- ②バビロン化教育の有様(1:3-5)→言語=アラミック、数学、天文学、歴史、科学、魔術などの教育と改名(1:7)
 - ・ダニエル(神はわが裁き)→ベルタシャツアル(バル神よ、彼の命を守りたまえ)注:ベル=マルドゥク神(バビロンの神)
 - ・ハナンヤ(主は恵みを示す)→シャドラク(アク神の命の下で)注:アクは月の神
 - ・ミシャエル(誰が主のようであるか)→メシャク(誰がアク神のようであるか)
 - ・アザルヤ(主は助ける)→アベド・ネゴ(ネゴのしもべ)注:ネゴ/ネボは読み書きの神
- ③彼らの生き方(8-16節):バビロンの汚れから自分を守る;バビロンの学問に進む(1章17-21節)
- ④思慮深い行動(2:14)→主に守りを祈り求める;まことの神はどなたか(2:20-23)
- ⑤世の人々の挑戦(3:8)に対する証しとコンフロンテーション(3:17-18)
- ⑥国家と教会(エクレシア)の関わり:主権の違い(ヨハネ17:15-16;18:36);私たちは直接にキリストの頭首権に服することができる(詩篇133編)→世での生き方(ピリピ2:15;1テモテ3:9)

■暗証聖句

ダニエル3:16 このお定めにつきまして、お答えする必要はございません。

3:17 わたしたちのお仕えする神は、その燃え盛る炉や王様の手からわたしたちを救うことができますし、必ず救ってくださいます。

3:18 そうでなくとも、御承知ください。わたしたちは王様の神々に仕えることも、お建てになった金の像を拜むことも、決していたしません。検索 清い [新共同] 新約

I テモテ3:9 清い良心の中に信仰の秘められた真理を持っている人でなければなりません。